

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公表番号】特表2008-515667(P2008-515667A)

【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2007-535743(P2007-535743)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/075 (2006.01)

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

B 0 5 B 5/08 (2006.01)

B 0 5 B 5/025 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 4 A

B 0 5 D 3/00 D

B 0 5 D 1/26 Z

B 0 5 B 5/08 B

B 0 5 B 5/025

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日(2008.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非導電性流体ジェットから生成される流体液滴を特定する装置であって：

ノズルチャネル；

前記ノズルチャネルと流体のやり取りをし、かつ前記ノズルチャネルを介して前記非導電性流体のジェットを生成するように動作できる加圧源；及び

特定用電極；

を有し、

前記特定用電極の少なくとも一部は導電性で、かつ前記非導電性流体の第1部分と接触可能で、その後前記非導電性流体の第2部分と接触可能で、

前記特定用電極の前記少なくとも一部の導電性部分は、前記非導電性流体ジェットのの前記第1部分である領域へ第1電荷を移送し、前記非導電性流体ジェットのの前記第2部分である領域へ第2電荷を移送するように動作でき、

前記非導電性流体ジェットのの前記第1部分から生成される第1流体液滴は第1特性を有し、かつ

前記非導電性流体ジェットのの前記第2部分から生成される第2流体液滴は第2特性を有する、

装置。

【請求項2】

流体液滴を特定する方法であって：

非導電性流体ジェットを供する工程；

特定用電極の導電性部分に第1電荷を供する工程；

前記第1電荷を、前記特定用電極の前記導電性部分から前記非導電性流体ジェットの前記第1部分へ移送することによって、前記非導電性流体ジェットの前記第1部分から生成される第1流体液滴を特定する工程；

前記特定用電極の前記導電性部分に第2電荷を供する工程；及び

前記第2電荷を、前記特定用電極の前記導電性部分から前記非導電性流体ジェットの前記第2部分へ移送することによって、前記非導電性流体ジェットの前記第2部分から生成される第2流体液滴を特定する工程；

を有する方法。

【請求項3】

少なくとも1つの導電性部分を有する、非導電性流体ジェットから生成される流体液滴を特定する電極であって、

前記少なくとも1つの導電性部分は、前記非導電性流体ジェットの前記第1部分と接触可能で、その後前記非導電性流体ジェットの前記第2部分と接触可能となり、

前記少なくとも1つの導電性部分は、第1電荷を、前記非導電性流体ジェットの前記第1部分へ移送し、かつ、第2電荷を、前記非導電性流体ジェットの前記第2部分へ移送するように動作できる、

電極。